

広域振興局長

提出者 住田フーズ株式会社

住所 〒029-2311 岩手県気仙郡住田町世田米字火石19-6

氏名 代表取締役 加納 雄三

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	住田フーズ株式会社 食鶏処理工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県気仙郡住田町世田米字火石5-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,851 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

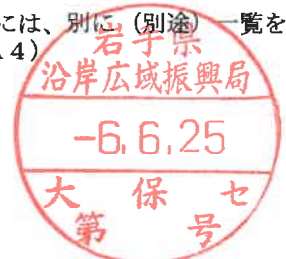
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
食鶏処理工場	〒029-2311住田町世田米字火石5-1	1,024 kl
化製工場	〒029-2311住田町世田米字火石1-3	743 kl
金成農場	〒029-2202陸前高田市横田町字梅の木6-1	254 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

(A4)



2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
大股農場	〒029-2311住田町世田米字下大股73-2	379 kℓ
日向農場	〒029-2311住田町世田米字西風68-4	104 kℓ
上大畑農場	〒029-2501住田町上有住字上大畑30-6	158 kℓ
中上農場	〒029-2502住田町下有住字中上128	44 kℓ
高瀬農場	〒029-2502住田町下有住字高瀬164-5	46 kℓ
種山農場	〒029-2311住田町世田米字子飼沢30-71	359 kℓ
山谷農場	〒029-2311住田町世田米字野形144-1	131 kℓ
和田野農場	〒029-2501住田町上有住字和田野74-1	158 kℓ
月山農場	〒029-2502住田町下有住字高瀬223-1	23 kℓ
荷沢農場	〒029-2311住田町世田米字小股303-1	420 kℓ
中井田倉庫	〒029-2501住田町上有住字中井17	2 kℓ
本社	〒029-2311住田町世田米字火石19-6	6 kℓ
		kℓ
		kℓ
		kℓ

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油		kL			kL					
A重油	712.00	kL	27,697		kL	27,697	1,960	1,940	20	
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		1,278.00	t	64,028	t	64,028	3,827	3,964	-158
	石油系炭化水素ガス			千m ³		千m ³				
	液化天然ガス(LNG)			t		t				
	その他可燃性天然ガス			千m ³		千m ³				
化石燃料	石炭	輸入原料炭		t		t				
		原料炭		t		t				
		コークス用原料炭		t		t				
		吹込用原料炭		t		t				
		一般炭		t		t				
		輸入一般炭		t		t				
		国産一般炭		t		t				
		輸入無煙炭		t		t				
		石炭コークス		t		t				
		コークス		t		t				
コークス炉ガス		千m ³		千m ³						
高炉ガス		千m ³		千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³						
転炉ガス		千m ³		千m ³						
都市ガス		千m ³		千m ³						
その他の燃料	()									
	()									
非化石燃料	黒炭		t		t					
	木材		t		t					
	木質廃材		t		t					
	バイオエタノール		kL		kL					
	バイオディーゼル		kL		kL					
	バイオガス		千m ³		千m ³					
	その他バイオマス		t		t					
	RDF		t		GJ/t					
	RPF		t		GJ/t					
	廃タイヤ		t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t					
	廃油		kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³					
	混合廃材		t		t					
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料()										
小計①						91,725	5,787	5,925	-138	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ					
	温水		GJ		GJ					
	冷水		GJ		GJ					
	地熱		GJ		GJ					
	温泉熱		GJ		GJ					
	太陽熱		GJ		GJ					
	雪氷熱		GJ		GJ					
	小計②									
	電気	電気事業者①	6,661.00	千kWh	57,551	千kWh	57,561	3,177	2,971	206
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh					
	太陽光		千kWh		千kWh					
	水力		千kWh		千kWh					
	風力		千kWh		千kWh					
	その他		千kWh		千kWh					
小計③						57,561	3,177	2,971	206	
合計④=①+②+③						149,276	8,964	8,896	68	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	3,851	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	上記以外の二酸化炭素
二酸化炭素の排出量	8,964	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量		t-CO ₂
合計	8,964	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2023年度はLPGの使用量は削減できたが、処理羽数増加に伴い電気量が増加した。

【具体的な取組状況】

○省エネルギー

- ①コンプレッサー更新し省力化
- ②浄化槽ターボブローア設置し省力化
- ③工場内 照明をLEDに更新

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

- ①東北電力の再エネ由来電力購入(2023年8月より5%)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

○処理工場にてエコキュート使用し、ボイラー稼働率低下及び重油使用量削減を継続。